

真の知恵が大声で叫んでいる

「真の知恵が通りで大声で叫ぶ。広場で声を上げている」。[格言 1:20](#)

88 番の歌 あなたの道を教えてください

何を学ぶか*エホバが与えてくださる知恵は、この世の中で得られるどんな知恵よりもはるかに優れたものです。この記事では、「格言の書」に載せられている興味深い例えを考えます。知恵が広場で叫んでいる、という表現です。また、どうすれば真の知恵を得られるか、ある人たちが知恵に耳を貸そうとしないのはなぜか、それに耳を傾けることはどのように私たちのためになるかも考えます。

1. 現代の多くの人は、知恵の呼び掛けに対してどんな反応を示していますか。 ([格言 1:20, 21](#))

多くの国では、人通りが多い場所で伝道者が道行く人に笑顔で出版物を提供している様子をよく目にします。あなたもこの活動に参加したことがありますか。もしもあるなら、「格言の書」に載せられている例えについて考えたことがあるでしょう。知恵がアドバイスを聞くようにと広場で呼び掛けているという例えです。 ([格言 1:20, 21](#) 真の知恵が通りで大声で叫ぶ。広場で声を上げている。
21 にぎやかな街角で呼び掛ける。町の門の入り口でこう言うを読む。) 聖書や出版物には、「真の知恵」つまりエホバの知恵が収められています。これは、人々が永遠の命を得る上で欠かせないものです。私たちは、誰かが出版物を受け取るとうれしく感じます。とはいえ、全ての人が受け取るわけではありません。聖書について知りたくないと考えている人もいれば、あざ笑う人もいます。そうした人たちは、聖書は時代遅れだと考えているのです。また、聖書の道徳基準を批判して、その基準に従う人のことを厳しくと独り善がりだと言う人もいます。それでも、エホバは愛の気持ちから、全ての人が真の知恵を得られるようにしています。どのようにでしょうか。

2. どうすれば真の知恵を得ることができますか。しかし、多くの人はどうしていますか。

2 エホバはご自分の言葉である聖書を用いて、人々が真の知恵の声を聞けるようにしています。ほとんど全ての人が、聖書を自分の理解できる言語で手に入れることができます。エホバの証人の出版物についてはどうでしょうか。エホバの祝福によって、1000余りの言語で入手できるようになっています。知恵の言葉を聞くなら、つまり、それを読んで当てはめるなら、必ず自分のためになります。とはいえ、ほとんどの人は真の知恵の言葉に耳を貸そうとしません。何かを決める時には、自分の考えや人間の知恵に頼ります。聖書の教えに従う私たちのことを見下す人さえいます。この記事では、人々がなぜそうした反応をするのかについて取り上げます。でもまずは、どうすればエホバの知恵を得ることができるのかについて考えましょう。

エホバについての知識が必要

3. 真の知恵にはどんなことが関係していますか。

3 知恵とは、**良い決定を下すために知識を活用する能力**のことです。とはいっても、真の知恵にはもつと多くのことが関係しています。聖書にはこう述べられています。「**知恵はエホバへの畏れから始まる。最も聖なる方についての知識**が理解を与える」。（←[格 9:10](#)）ですから、重要な決定を下す時には、「**最も聖なる方についての知識**」つまり**エホバの考え**に基づいて決める必要があります。そのために、**聖書や出版物を調べることができます**。そうすれば、**真の知恵を示せます**。（[格 2:5-7](#) その時、あなたはエホバへの畏れを理解し、神についての知識を見つける。6 エホバご自身が知恵を与えてくださるからである。神の口から知識と識別力が出る。7 神は正直な人のために、役立つ知恵を蓄え、高潔に(*忠誠を尽くして)歩む人のための盾となる）

4. 私たちに真の知恵を与えることができる的是エホバだけである、と言えるのはなぜですか。

4 私たちに**真の知恵を与える**ことができる的是、エホバだけです。（[ロマ 16:27](#) ただひとり知恵のある神が、イエス・キリストを通して永遠にたたえられますように。アーメン）エホバを**知恵の源**と呼べるのはどうしてでしょうか。1つ目に**エホバは創造者**なので、**ご自分が創造したものについて全て**のことと**ご存じ**です。（[詩 104:24](#) エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう。あなたは**知恵**によって全てを造った。地球はあなたが造ったもので満ちている）2つ目に、**エホバが行うこと**にはいつでも**知恵が表**れています。（[ロマ 11:33](#) ああ、神の**祝福**は何と豊かで、神の知恵と知識は何と深いのでしょうか。神の**裁き**を知り抜くことも、神の**道**を**知り尽くす**ことも決してできません）3つ目に、**エホバの助言に従う**ことは、必ず私たちの**ためになります**。（[格 2:10-12](#) 知恵があなたの心に入り、知識が心地よいものとなる時、11 思考力があなたを見守り、識別力があなたを**保護**する。12 あなたを次のものから**救い出す**ためである。悪い道から、堕落した事柄を話す人から）それで、**真の知恵を得たい**と思うなら、これら3つの**真理**を受け入れ、それに沿った決定や行動をする必要があります。

5. 人々がエホバを**真の知恵の源**として認めようとしているので、どんな結果になっていますか。

5 私たちが伝道で会う人たちの多くは、**自然界がよくできている**ということは認めています。しかし、**造った方がいることを否定し、全ては進化**によって生じたと考えています。また、**神の存在**を認めてはいても、聖書の基準は**時代遅れ**だと**考えて**、**自分の好きなように**している人もいます。では、どんな結果になっているでしょうか。人々が神の知恵ではなく自分の知恵に頼ったことによって、**世界は良くなっている**でしょうか。人々は**本物の幸せ**や**しっかりととした希望**を持っているでしょうか。今の世の中の様子を見れば、次の聖書の言葉が真実であることがはつきり分かります。「**エホバに逆らっては、知恵も、識別力も、助言(*計画)もあり得ない**」（←[格 21:30](#)）ですから、私たちは**真の知恵を求めてエホバに頼りたい**という気持ちになるはずです。でも**残念**なことに、ほとんどのはそうしていません。なぜでしょうか。

人々が**真の知恵**を退ける理由

6. [格言1章 22-25節](#)によると、**真の知恵に耳を貸さない**のはどんな人たちですか。

6 多くの人は、 真の知恵が「通りで大声で叫」んでも、 耳を貸そうとしません。聖書によれば、 知恵を退ける人たちには 3つのグループ があります。 「経験のない人」， 「あざける人」， 「愚かな人」 です。 (格言 1:22-25 経験のない人よ、 いつまで経験のなさを好むのか。 あざける人よ、 いつまであざけりを楽しむのか。 愚かな人よ、 いつまで知識を憎むのか。 23 私の戒めを受け入れなさい(*私が戒める時、 改心しなさい)。 そうすれば、 私の力を注ぎ出し、 私の言葉を知らせよう。 24 私が呼び掛けたのに、 あなたたちは拒み続け、 手を差し出したのに、 誰も注意を払わなかったので、 25 また私の助言を全く聞かず、 戒めを受け入れなかつたのでを読む。) では、 こうした人たちが神の知恵を退けるのはなぜか、 私たちはどうすればこうした態度を避けることができるかを考えていきましょう。

7. 「経験のない人」の中に、 あえて変化しようとしない人がいるのはなぜですか。

7 「経験のない人」とは、 世間知らずで、 簡単に説得されたりだまされたりする人のことです。 (格 14:15 世間知らずの(*経験のない)人は全ての言葉を信じ、 聰明な人は1歩ごとにじっくり考える、 脚注) 私たちは伝道でそうした人たちに会うことがあります。 確かに、 非常に大勢の人が、 宗教指導者や政治指導者に惑わされています。 中には、 自分がだまされてきたことを知つてショックを受ける人もいます。 しかし、 格言 1 章 22 節に出てくる人は、 経験のなさを好んでいるので、 あえて変化しようとしません。 (エレ 5:31 預言者は偽りの預言をし、 祭司は自分たちの権力を振るう。 そして私の民はそれを喜んでいる。 終わりが来る時、 あなたたちはどうするのか) 「自分の好きなことをしたい。 聖書の教えを学んだり聖書の基準に従つたりはしたくない」と考えているのです。 カナダのケベック州に住む、 1人の信心深い女性は、 訪ねてきたエホバの証人に対して、 こう言いました。 「もしうちの司祭が私たちを惑わしているとしても、 それはその司祭の責任であって、 私たちの責任ではありません」。 同じように考えている人は大勢います。 でも私たちは、 あえて変化しようとしないこうした人たちのようにはなりたくありません。 (格 1:32 経験のない人は身勝手なので死ぬことになり、 愚かな人は自己満足のために滅びる; 27:12 聰明な人は危険に気付いて身を隠すが、 経験のない人たちには進んでいつて当然の報い(*罰)を受ける)

8. 経験を積んでいくために、 どんなことができますか。

8 聖書が、 経験のないままでいるのではなく、 「理解力の点では大人にな」るようになると勧めているのももつともなことです。 (←コリー 14:20) 私たちは、 聖書の教えを当てはめることによって経験を積んでいくことができます。 そうしていくなら、 問題を避けたり賢い決定をしたりする上で聖書が助けになる、 ということを少しずつ実感できるでしょう。 この点で自分がどれほど成長しているかをチェックするのは良いことです。 聖書を勉強し、 集会に出席するようになってしばらくたっているのに、 献身やバプテスマの段階まで進歩していないなら、 それはなぜでしょうか。 すでにバプテスマを受けているなら、 良い知らせを伝えたり教えたりする面で成長しているでしょうか。 何かを決めなければいけない時には、 聖書の教えに沿つた決定をしているでしょうか。 人と接する時、 イエスの手本に倣うようにしているでしょうか。 改善できるところに気が付いたなら、「経験の浅い人を賢くする」 エホバの教えについてじっくり考えるようになります。 (詩 19:7 エホバの律法は完全で、 力を吹き込む(*人を連れ戻す)。 エホバの教え(*思い出させるもの)は信頼でき、 経験の浅い人を賢くする)

9. 「あざける人」は、どのようにして知恵を退けていますか。

9 神の知恵に耳を貸さない2つ目のグループは、「あざける人」です。私たちは伝道でそのような人に会うことがあります。こうした人々は、あざけることを好んでいます。（詩123:4 自信満々な人々に散々あざけられ、高慢な人々に散々侮辱されてきた）聖書は、終わりの時代にあざける人々が多く見られると警告しています。（ペテニ3:3, 4 まずこのことを心に留めてください。終わりの時代には、あざける人々がやって来てあざけり、欲望のままに行動し、4こう言うでしょう。「約束されていた彼の臨在(*)はどうなっているのか。私たちの父祖が死の眠りに就いた日から何も変わっていない。全てのものは創造の始めの時と全く同じではないか」）正しい人口トの婿たちと同じように、神からの警告に注意を払わない人がいます。（創19:14 それでロトは出ていき、娘たちと結婚することになっていた婿たちに何度もこう言った。「急いで、ここから出なさい！エホバがこの町を滅ぼされます」。しかし、婿たちには、ロトが冗談を言っているようにしか思えなかった）聖書の教えに従って生きる人々をあざ笑う人も少なくありません。あざける人は、「神を敬わずに欲望のままに」行動します。（ユダ7, 17, 18 愛する皆さん、主イエス・キリストの使徒たちが以前に語った言葉(*予告した事柄)を思い出してください。18こう言っていました。「終わりの時には、あざける人々が現れ、神を敬わずに欲望のままに行動します」）あざける人について聖書が述べていることは、背教者やエホバを退ける人々にぴったり当てはまるのではないか。

10. 詩編1編1節からすると、あざける人にならないために何ができますか。

10 どうすれば、あざける人にならないよう、自分を守れるでしょうか。1つの方法は、批判的な態度を取る人々と関わりを持たないようにすることです。（詩編1:1 何と幸せなのだろう。悪人の意見に従って歩まず、罪人の道に立たず、あざける人と共に座らない人はを読む。）それで、背教者の言ふことを聞いたり書いた物を読んだりは決してしません。気を付けていないと、私たちは批判的になってしまって、エホバや組織からの指示に疑いを持つようになってしまふかもしれません。そうならないために、次のように考えましょう。「自分は新しい指示や説明があった場合、消極的なことばかり言うだろうか。教え導いている人たちのあら探しをする傾向があるだろうか」。こうした良い点をすぐに改善するなら、エホバは喜んでください。（格3:34, 35 神は、あざける人をあざ笑い、温厚な人を好意的に見る。35 賢い人は名誉を受け、愚かな人は不名誉なことを誇りとする）

11. 「愚かな人」はエホバの道徳基準に対してどんな態度を取りますか。

11 知恵を退ける3つ目のグループは、「愚かな人」です。こうした人々が愚かと言えるのは、神の道徳基準に従って生きるのではなく、自分が正しいと思うことを行っているからです。（格12:15 愚かな人は自分の道は正しいと思うが、賢い人は助言を受け入れる）そのようにして、知恵の源であるエホバを退けているのです。（詩53:1 愚かな(*無分別な)人は心の中で言う。「エホバはいない」。彼らの行動は腐敗していて忌まわしく、正しくない。善いことを行う人は誰もいない）こうした人々は、伝道している私たちに対して、聖書の基準に従っていることを厳しく批判することがよくあります。とはいえ、より良い生き方を示すことはできません。聖書の次の言葉の通りです。「愚かな人は眞の知恵を獲得できない。町の門の所で何も言う事がない」。（←格24:7）愚かな人が眞の知恵を語ることはできません。ですから、エホバが「愚かな人から離れてよ」と警告しているのも当然のことです。（格14:7 愚かな人から離れてよ。彼の口から知識が出ることはない）

12. 愚かな人のようにならないために、どんなことができますか。

12 愚かな人は神の助言を嫌いますが、私たちは神の考え方や道徳基準への愛を強めたいと思っています。そうする上で、神の基準に従うことの結果と従わないことの結果を比較することが役に立ちます。愚かにもエホバの基準を退ける人はどんな問題を経験しているか、そして、私たちは神に従うことによってどれほど良い生き方ができているかを考えてみてください。 (詩 32:8 私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。 10 悪人の苦痛は多い。しかしエホバに頼る人は、神の揺るぎない愛に包まれる)

13. エホバはご自分の助言に無理に従わせようとしますか。

13 エホバは全ての人が知恵を得られるようにしていますが、それを押し付けたりはしません。それでも、知恵に耳を傾けない人がどんな結果になるかを明らかにしています。 (格 1:29-32 知識を嫌い、エホバを畏れようとしなかったからだ。 30 彼らは私の助言を退け、戒めを全く軽んじた。 31 それで、当然の報いを受け(d*自分の道の実を食べ)、多くの策略で自分の首を絞める(*自分のたくらみを食べ飽きる)。 32 経験のない人は身勝手なので死ぬことになり、愚かな人は自己満足のために滅びるのである) エホバに従おうとしない人は、「当然の報いを受け」ことになります。悲しみや苦痛を経験し、最後には滅ぼされるのです。一方、エホバの素晴らしい助言に耳を傾け、従う人には、次のような保証が与えられています。「私の言うことを聞く人は安心して暮らし、災いを恐れて動搖することはない」。 (←格 1:33)

真の知恵は私たちのためになる



集会でコメントするなら、エホバとの友情を強めることができる。 (15 節を参照。)

14-15. 格言 4 章 23 節からどんなことを学べますか。

14 神の知恵を当てはめるなら、必ず私たちのためになります。ここまでで考えてきた通り、エホバはご自分の素晴らしい助言を誰もが得られるようにしています。例えば、「格言の書」には、時代を超えたアドバイスがちりばめられていて、それを当てはめるならより良い生き方ができます。では、そのうちの4つを調べてみましょう。

15 心を守る。聖書にはこうあります。「ほかの何よりも、あなたの心を守れ。命は心に懸かって(*源を発しているからである)いるからである」。 (←格 4:23) 心臓を守るために、どんなことが必要でしょうか

。健康に良い物を食べ、十分に運動し、良くない習慣を避けることです。心を守ることについても、似たようなことが言えます。聖書で毎日自分を養います。準備して集会に出席し、コメントをします。熱心にまた定期的に伝道を行います。そして、良くない習慣を避けます。つまり、不道徳なエンターテインメントや悪い交友といった、考え方を腐敗させるものを一切避けるということです。



お金に対してバランスの取れた見方をするなら、持っている物で満足できるようになる。（16節を参照。）

16. 格言 23 章 4, 5 節の言葉が現代でも役立つと言えるのはなぜですか。

16 **持っている物で満足する。**聖書には次のようなアドバイスがあります。「富を得ようとして疲れ切ってはならない。……目をやると、そこに富はない。それは必ずワシのように翼を生やして空に飛び去る」。（←格 23:4, 5）財産がなくならないという保証はありません。にもかかわらず、お金を持っている人も持っていない人も、さらにお金を稼ごうと必死になっています。そのために、自分の評判や人間関係や健康さえ犠牲にする人もいます。（格 28:20忠実な人は多くの祝福を受け、富を得ようと急ぐ人は潔白ではいられない。テモ一 6:9, 10しかし、裕福になろうとする人たちは、誘惑とわなに陥り、多くの無分別で有害な欲望を抱き、破滅と滅びに至ります。10 お金愛することは、あらゆる悪い事柄の根なのです。ある人たちはこの愛にとらわれて信仰を失い(*クリスチャンの信条から迷い出)、多くの苦痛を身に招き(d*多くの苦痛で自分の全身を刺しました)一方、知恵があるなら、お金に対してバランスの取れた見方を持つことができます。そして、貪欲を避け、満足感や幸せを味わうことができます。（伝 7:12 お金は身の守りであり、知恵も身の守りである。しかし知識や知恵の利点は、人の命を保たせることだ）



話す前に考えるなら、傷つけるようなことを言わずに済む。 (17節を参照。)

17. どうすれば、格言 12 章 18 節に出てくる「賢い人たちの舌」を得ることができますか。

17 **話す前に考える。** 私たちは注意していないと、言葉で人を深く傷つけてしまうことがあります。聖書には、「心ない(*軽率な)発言は剣のように突き刺し、賢い人たちの舌は人を癒やす」とあります。 (←格 12:18) 誰かの欠点や失敗についてのうわさ話をしないようにするなら、良い人間関係を保つことができます。 (格 20:19 中傷する人は内密のことを漏らして回る。 うわさ好きの(*唇で誘う)人と交友を持ってはならない) 人を傷つけるのではなく、癒やす言葉を語るためには、聖書の言葉で心を満たしておく必要があります。 (ルカ 6:45 善い人は、心に蓄えている善いものの中から善いものを取り出し、邪悪な人は、蓄えている邪悪なものの中から邪悪なを取り出します。心に満ちあふれているものが口から出るのです) 聖書についてじっくり考えるなら、私たちの言葉は「知恵の泉」のようになり、人を爽やかにするものとなるでしょう (格 18:4 人の口の言葉は深い水である。 知恵の泉はほとばしる水の流れ



組織からの指示に従うなら、宣教をいっそう上手に行えるようになる。 (18節を参照。)

18. 格言 24 章 6 節の言葉は、宣教で成功を収める上でどのように助けとなりますか。

18 **指示に従う。** 聖書には次のような良いアドバイスがあります。「的確な導きによって戦いをせよ。助言者が多ければ成功する」。 (格 24:6 巧みな指揮(*的確な導き)によって戦いをせよ。助言者が多ければ勝利する(*成功する/救われる), 脚注) この言葉は、宣教で成功を収める上でも助けになります。

私たちは、自分なりの方法で行うのではなく、提案に従うよう努力しています。こうした提案は集会で与えられます。話や実演を通して、上手に聖書から教える方法を学ぶことができます。加えて、エホバの組織は、出版物や動画といった役立つツールも準備してくれています。これらは、聖書を理解する人々を助ける上で大いに役立っています。あなたは、こうしたツールを十分に活用していますか。

19. あなたはエホバの知恵についてどう感じていますか。 (格言 3:13-18)

19 **格言 3:13-18 知恵を得る人、識別力を身に付ける人は幸せだ。** 14 知恵を得ることは銀を得ることに勝り、それ手にするのは金を手にするよりも価値がある。 15 それはサンゴ(*)よりも貴重で、あなたが望むどんなものもこれにはかなわない。 16 長寿が右の手にあり、富と栄誉が左の手にある。 17 知恵の道は心地よく、その通り道はどこも平穏(*平和)である。 18 知恵はそれをつかむ人たちにとって命の木であり、しっかりとつかんでいる人々は幸せな人と呼ばれるを読む。私たちは、聖書に収められている良いアドバイスに心から感謝しています。それがなかったなら、私たちは今ごろどうなっていたか分かりません。この記事では、「格言の書」に載せられている知恵の言葉を幾つか考えてきました。もちろん、聖書のほかの部分にもエホバの知恵が数多く載せられています。ですから、生活のあらゆる面でエホバの知恵を当てはめるようにしましょう。世の中の人々が神の知恵にどんな見方を持っているとしても、私たちは、「知恵[を]しっかりとつかんでいる人々は幸せな人と呼ばれる」ということを確信しているのです。

どのように答えますか

1. どうすれば真の知恵を得ることができますか。

・S02 エホバはご自分の言葉である聖書を用いて、人々が真の知恵の声を聞けるようにしている。知恵の言葉を聞く、つまり読んで当てはめるなら、必ず自分のためになる。とはいえ、ほとんどの人は真の知恵の言葉に耳を貸そうとしていない。

2. 多くの人たちが①真の知恵に耳を貸さないのはなぜですか。②どんな結果になって？

・S07 ①「経験のない人」とは、世間知らずで、簡単に説得されたりだまされたりする人。経験のなさを好んでいるので、あえて変化しようとせず、「自分の好きなことをしたい。聖書の教えを学んだり聖書の基準に従つたりはしたくない」と考えている。②非常に大勢の人が、宗教指導者や政治指導者に惑わされている。

・S09 ①「あざける人」は、あざけることを好み、聖書の教えに従って生きる人たちをあざ笑ったり、神を敬わずして欲望のままに行動する。②背教者になったり、エホバを避けたりするので、こうした人々とは決して関わりを持ってはならない。

・S11 ①「愚かな人」は神の道徳基準に従って生きるのではなく、自分が正しいと思うことをやっている。②知恵の源であるエホバを避け、聖書の基準に従っている人を厳しく批判することがあるが、より良い生き方や真の知恵を示すことはできない。

・S13 ②エホバは全ての人が知恵を得るようにしているが、それを押し付けたりはしないが、エホバに従おうとしない人は当然の報いを受け、悲しみや苦痛を経験し、最後には滅ぼされる。

3. あなたにとって「格言の書」のどのアドバイスが特に役立っていますか。

(格言 15:15) 苦しむ人にはどの日も悪い日で、陽気な心の人には毎日が宴会である。

36 番の歌 心を守る